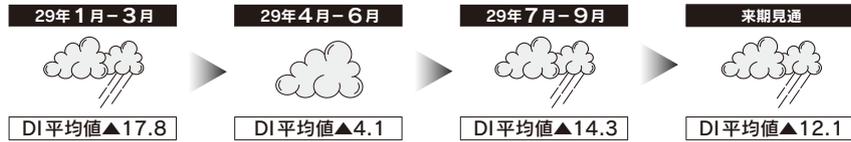


県内中小企業(製造業)景況動向

平成29年7月9月期

総じて悪化傾向となり、先行き不安が一層高まる

本会調査結果概要



業種別景況動向

食料品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲16.9	▲10.2	▲27.1	▲19.1

前年同期比の売上高DIは▲33.3、収益性DIは▲20.8で、両方を合わせたDI平均値は▲27.1となり「小雨」模様が続いている。来期見通しは8.0ポイント上昇して▲19.1となり「小雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲16.7、収益性DIは▲24.5となった。

また、雇用人員判断DIは20.4、設備操業率DIは▲22.9、設備投資実施率は47.2%となった。

繊維・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
▲42.4	▲11.1	▲35.0	▲35.0

前年同期比の売上高DIは▲36.7、収益性DIは▲33.3で、両方を合わせたDI平均値は▲35.0となり「雨」模様に転じている。来期見通しは今回調査と同じく▲35.0となり「雨」模様が続く見通しになっている。

なお、前期比の売上高DIは▲13.3、収益性DIは▲18.2となった。

また、雇用人員判断DIは22.7、設備操業率DIは▲4.5、設備投資実施率は13.8%となった。



概況

売上高と収益性を合わせたDI平均値(同期比)については▲14・3となり、前回調査(29年4-6月期)の▲4・1から10・2ポイント下降している。来期見通しにおいては、2・2ポイント上昇して▲12・1となっている。

売上高DI(同期比)については▲14・1となり、前回調査から14・1ポイント下降している。来期見通しにおいては▲13・0となっている。

収益性DI(同期比)については▲14・5となり、前回調査から6・4ポイント下降している。来期見通しにおいては▲11・1となっている。

業況DI(同期比)については▲12・5となり、前回調査から8・4ポイント下降している。来期見通しにおいては▲8・4となっている。

原材料価格DI(前期比)については25・7となり、前回調査から2・3ポイント上昇している。

販売価格DI(前期比)については▲3・6となり、前回調査から0・9ポイント上昇している。

資金繰りDI(前期比)については▲12・6となり、前回調査から6・5ポイント下降し、悪化している。

金融機関の態度DI(前期比)については▲0・8となり、前回調査から0・8ポイント下降し、硬化している。

設備操業率DI(前期比)については▲7・7となり、前回調査から1・7ポイント上昇している。

雇用人員判断DI(前期比)については20・7となり、前回調査から2・7ポイント上昇している。

設備投資実施率については26・9%となり、前回調査より0・7ポイント上昇している。業種別で最も高い実施率となったのは、「食料品」の47・2%で、目的別では、「品質向上」が45・6%でトップとなった。また、来期の設備投資計画率については32・8%となった。

紙・加工品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲4.2	16.7	▲3.9	▲29.2
<p>前年同期比の売上高D Iは「増加」、「減少」とともに23.1%で0.0、収益性D Iは▲7.7で、両方を合わせたD I平均値は▲3.9となり「曇」模様になっている。来期見通しは25.3ポイントの大幅下降で▲29.2となり「小雨」模様に転じる見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲15.4、収益性D Iは「好転」、「悪化」とともに7.7%で0.0となった。また、雇用人員判断D Iは「不足」、「過剰」とともに7.7%で0.0、設備操業率D Iは▲30.8、設備投資実施率は7.7%となった。</p>			

木材・木製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲9.1	0.0	▲13.7	▲22.8
<p>前年同期比の売上高D Iは▲18.2、収益性D Iは▲9.1で、両方を合わせたD I平均値は▲13.7となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは9.1ポイント下降して▲22.8となり「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲18.2、収益性D Iは▲36.4となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは9.1、設備操業率D Iは▲10.0、設備投資実施率は18.2%となった。</p>			

金属・同製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
1.4	10.0	▲2.9	3.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲2.9、収益性D Iも▲2.9で、両方を合わせたD I平均値は▲2.9となり「曇」模様が続けている。来期見通しは5.9ポイント上昇して3.0となり「曇」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは2.9、収益性D Iは▲8.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは16.7、設備操業率D Iは▲16.7、設備投資実施率は33.3%となった。</p>			

窯業・土石製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲16.9	▲14.0	▲20.8	▲5.2
<p>前年同期比の売上高D Iは▲25.7、収益性D Iは▲15.8で、両方を合わせたD I平均値は▲20.8となり「小雨」模様が続けている。来期見通しは15.6ポイント上昇して▲5.2となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲25.6、収益性D Iは▲11.7となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは14.7、設備操業率D Iは▲5.8、設備投資実施率は23.1%となった。</p>			

プラスチック製品

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲10.0	▲4.6	▲25.0	▲5.0
<p>前年同期比の売上高D Iは▲30.0、収益性D Iは▲20.0で、両方を合わせたD I平均値は▲25.0となり「小雨」模様に転じている。来期見通しは20.0ポイントの大幅上昇で▲5.0となるものの「小雨」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは▲20.0、収益性D Iは▲10.0となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは10.0、設備操業率D Iは▲9.1、設備投資実施率は30.0%となった。</p>			

機械・機器

1-3	4-6	7-9	来期見通
			
▲26.5	▲2.0	3.2	▲3.9
<p>前年同期比の売上高D Iは14.1、収益性D Iは▲7.7で、両方を合わせたD I平均値は3.2となり「曇」模様が続けている。来期見通しは7.1ポイント下降して▲3.9となり「曇」模様が続く見通しになっている。</p> <p>なお、前期比の売上高D Iは20.4、収益性D Iは3.3となった。</p> <p>また、雇用人員判断D Iは33.3、設備操業率D Iは8.3、設備投資実施率は20.0%となった。</p>			